

## 深圳レポート

### 中国、冰雪産業が急成長

北京冬季五輪が開催されて以来、中国の冰雪産業が急速に成長している。公開データによると、2020年の中国冰雪産業市場規模は約5,000億元であったが、2024年には9,700億元に達し、年平均成長率は18.1%に及んでいる。大衆の冰雪スポーツや旅行への関心の高まり、さらには政府の強力な支援により、冰雪産業は単なる観光事業にとどまらず、スポーツ文化、装備製造など多岐にわたる分野へと拡大している。

※「冰雪産業」とは、冬のスポーツや観光に関連する経済活動を指す。

#### 観光事業

各地の人気冰雪旅行はそれぞれ特色を持っている。例えば、ハルビン市の「冰雪大世界」は氷像(氷彫刻)と雪像で有名であり、年間数百万人の観光客を迎えている。吉林市の松花湖はスキーとリゾートを融合させた観光地として人気があり、高級リゾートホテルは冬のピークシーズンには満室になることが多い。ウイグル自治区のアルタイは豊かな冰雪資源と自然景観を活かし、新たな人気観光地として台頭している。

旅行は観光型とリゾート型の二つに分けられる。2023-2024年の冰雪シーズン(11月~2月)では、冰雪観光型旅行は冰雪旅行全体の62.1%を占め、リゾート型は37.9%を占めている。観光者数は4億人を超え、観光収入は5,500億元に達し、前年より57.59%増加した。

2023-2024年の冰雪シーズンにおける中国の冰雪観光の状況

年	人数	収入
2023	延べ 2.12 億人	3,490 億元
2024	延べ 4 億人以上	5,500 億元

冰雪旅行は旅行市場における重要な位置づけとなり、一部の北方省では旅行収入の30%から50%を占めている。例えば、2023年の吉林省では、冰雪旅行収入が全省旅行総収入の

40%以上を占め、冬季には多くの観光客が訪れ、宿泊、飲食、交通などの関連産業の発展に貢献している。

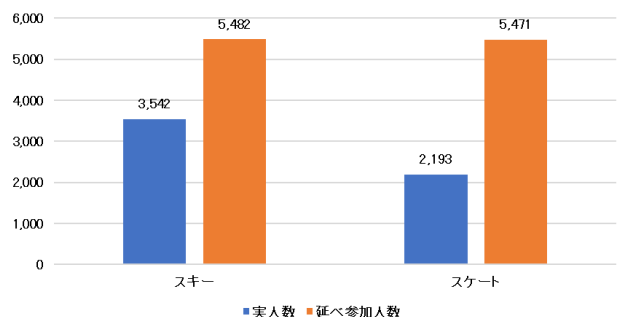
2024年には、冰雪旅行分野への投資総額が1,076.91億元に達し、大規模なプロジェクト投資は87件、累計857.21億元に上る。

#### スポーツ産業

『中国冰雪産業発展研究報告(2024)』によると、2024年には全国で冰雪スポーツに参加した人数が延べ3億人を超え、冰雪スポーツ関連の消費は1,500億元を超えた。「冰雪産業」はスポーツ産業の成長を牽引する主要な原動力となっている。

冰雪競技の開催やスポーツトレーニングの発展は、スポーツ産業に新たな活力をもたらしている。スキーやアイスホッケーなどの競技が徐々に普及し、参加者と観客を増やし、それに伴い関連する収益も増加している。スキーやスケートの参加率は年々上昇し、全国各地に公共のスケートリンクやスキー場が拡大している。2023-2024年の冰雪シーズンには、スケート、スキーなどのスポーツに5,735万人が参加し、中でもスキーが主流を占めている。

2024年の冰雪スポーツ参加者構成(万人)



さらに、南方都市の深センでも積極的に冰雪スポーツ競技を開催し、冰雪スポーツの普及を推進している。2023年12月には、中国女子アイスホッケープロリーグを開催し、2024年11月

には中国男子アイスホッケープロリーグが行われた。このような取り組みは、市民の冰雪スポーツへの関心を育み、冰雪スポーツの普及と商業化の機会を拡大している。

### 道具・用品製造(中国語: 裝備)

中華人民共和国工業情報化部のデータによると、2015年から2023年にかけて、冰雪道具・用品関連企業数は約300社から900社に増加した。2023年の中国冰雪裝備市場規模は220億元で、前年より10.55%成長している。中国の裝備製造企業であるチチハル黒龍國際冰雪裝備有限公司は、品質と技術革新を武器に急成長し、スケート靴、スキー板、スキーウェアなどの製品を展開し、中国市場のみならず国際市場にも進出している。

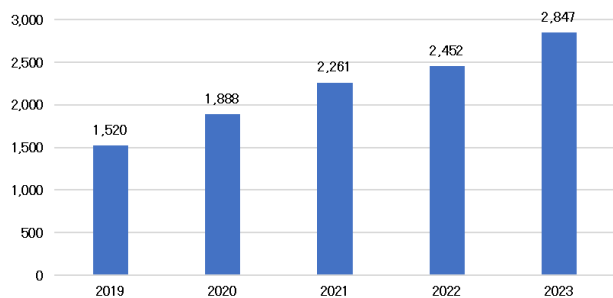
現在、中国は冰雪裝備製造の完全な生産ラインを確立し、大衆向けのスキーゴーグルやスキーウェアに加え、競技用的高速射出システムやトレーニング装置、さらには降雪機や圧雪車などの設備も開発している。冰雪裝備にはスキーウェア、ヘルメット、ゴーグル、グローブなどが含まれ、入門レベルの裝備でも3,000円から6,000円(例えばディカトロンの基本モデル)かかり、高級ブランド(Burtonやデサントなど)では単品で数千円、フルセットで2万円を超えることもある。

### 直面する課題

#### 1. 施設の不足

2024年11月6日、国家發展改革委員会は、冰雪スポーツの施設改善に向けた資金投入を継続する方針を発表した。2015年には全国の冰雪スポーツ施設は700カ所余りであったが、2023年末には2,847カ所に増加し、そのうちスケート場が1,912カ所、スキー場が935カ所であった。北方地域は冰雪スポーツ施設が充実しているが、南方都市の深センや広州などでも大型室内スキー場が増えている。

2019～2023年 中国の冰雪スポーツ施設数の推移(カ所)



また、既存施設の維持管理やサービス品質にも課題があり、消費者の体験を損なっている。冰雪施設が少なく、遠方にあることも冰雪スポーツ普及の主要な障害となっている。

#### 2. 人材不足

ハルビン市は氷像で有名であり、完整的な氷像産業チェーンを形成している。2009年からハルビン市師範大学は氷像専攻を設置し、氷像の人材育成を進めている。独立して作品を制作できる氷像師の報酬は、1日1,000元以上、高額な場合は3,500円にも達する。しかし、氷像は季節性が強く、仕事の集中する時期が1カ月程度に限られるため、安定した職に就く人は少なく、ハルビン市でこの分野に従事する者は1万人ほどしかいない。

また、冰雪スポーツの指導者も不足しており、2024年の登録済み指導者は5,000人未満であるが、実際の需要は2万人を超えている。

一方、上記の課題解決に向けての動きは、関連産業の更なる展開にも繋がる。例えば、長春市では人材募集やデータ分析を活用した人材育成が進められ、張家口市では国際連携による専門教育が行われている。また、スキー場の設備拡充やインフラ整備も進み、観光とスポーツの一体化が進んでいる。

### 広がる展望

現在、冬季アジア大会が開催されているハルビンなどの北方の都市だけではなく、南方の都市も、地域の壁を超えて冰雪産業を発展させている。深センの場合、2025年第4四半期には、世界最大の室内スキー場「深セン前海・華発冰雪世界」が完成予定であり、建築面積は約10万平方メートル、5本の専門的なスキーコースを備えている。グレーターベイエリアの中心に位置していることから、中山、広州、香港、マカオなどからの利用者を惹きつけることが期待されている。

冰雪産業の急成長は中国の産業における内需拡大だけではなく、外国人観光客の誘致にも繋がるであろう。

## 李未可LAWK—AIメガネの人気ブランドを構築

社名	杭州李未可科技有限公司	英語名	LAWK
代表者	茹憶	URL	<a href="https://lawaken.com/">https://lawaken.com/</a>
所在地	浙江省杭州市余杭区倉前街道時代天元城19棟1310室		
売上(RMB)	—	従業員(人)	—
登録資本金	1,890.7586 万人民币元		
サービス内容	異なる機能構成のAIメガネ製品を研究開発・生産・販売する		

スマートグラスは情報表示や通信機能を備えた新興ウェアラブルデバイスである。公開データによると、中国のスマートグラス市場規模は2019年の22億元から2023年には83億元へと拡大し、AI+ARメガネを手がける杭州李未可科技有限公司(LAWK)が注目されている。

### コア技術と製品ライン

LAWKのコア技術は、大規模言語モデル「WAKE-AI」に基づき、音声対話、画像認識、テキスト生成などのマルチモーダル機能を提供する。LAWKのAIメガネは、自然言語処理とアクティブAIインタラクションを基盤とし、スマートフォンのAI音声アシスタント(例: 豆包・・・バイトダンス独自の生成AIアプリ)と比較して、ノイズリダクション技術や自動音声認識(ASR)を最適化することで、日常シーンでのシームレスなインタラクションを可能にし、手動での操作を不要にしている。

LAWKは3年間の技術進化を経て、複数のAIメガネ製品ラインを展開している。

**Meta Lensシリーズ:** 2022年に初の両眼ARメガネ「Meta Lens S1」を発表。Micro-LED光導波路を採用し、屋外サイクリング向けに設計。軽量化と高性能を両立している。

**Meta Lens Chat:** 2024年に699元から販売され、AIメガネの普及を目的として開発された。独自の「WAKE-AI」を搭載し、500ミリ秒のコマンド認識し、2秒以内に対応できる。さらに、AIスピーキング学習、リアルタイム翻訳、タスク分解などの機能を備え、メガネのテンブルを触れることで音声アシスタントを起動できる。

なお、同社は「CES 2025」では、高通AR1チップを搭載した新型AIメガネを発表した。低消費電力と高性能を両立し、博物館ガイド機能などの新しい応用シーンを追加することで、観光中にリアルタイムでAIの解説を受けられるようにした。

### 商業エコシステム

#### ハードウェア販売

販売チャネルとして、LAWKは博士眼鏡(Doctor Glasses)と戦略的提携を結び、中国50店舗でAIメガネを販売し、体験サービスを提供している。

#### バーチャルキャラクター(アバター)

LAWKは、同社名と同じデジタルキャラクター「李未可」を開

発し、感情と会話能力を持つバーチャルヒューマンとしてブランド化している。このキャラクターはショートビデオプラットフォームで100万以上のフォロワーを獲得し、「テクノロジー・トレンド」として若年層の消費者を惹きつけている。バーチャルキャラクターとAIメガネを組み合わせることで、AIの消費者向けアプリケーションシナリオを最適化している。

### 市場環境と競争状況

AIメガネ市場はまだ初期段階で、ユーザーの習慣は形成されておらず、業界も成熟していない。しかし、大規模言語モデルのアルゴリズム向上やチップの演算能力の進化により、スマートグラスがAI端末として重要になる可能性がある。

世界市場では、AIメガネ分野の競争が激化している。例えば、MetaはRay-Ban(レイバン)と提携してAIメガネを発表し、AppleもAI+AR端末の開発を進めている。中国では、Rokidや雷鳥(Rayneo)などがスマートグラス市場を開拓し、それぞれ独自のAIメガネ製品を発表している。

### 商業提携と資金調達

バイトダンス関連会社の北京量子躍動科技有限公司は、LAWKの株式を15.6%保有している。さらに、2024年にはインパルス(Impulse)が1,000万元を増資し、LAWKの株式を取得した。さらに、両社は共同で会社を設立し、AIメガネ技術を活用したサイクリングやフィットネス向けのスマートスポーツ機器を開発する。これにより、AIメガネのスポーツ・ヘルスケア分野への応用が広がっている。

また、AI端末デバイスのトレンドは明確で、スマートグラスはスマートフォンやスマートウォッチの一部機能を補完し、ユーザーが常時AIと対話できるインターフェースとしての役割を強めている。LAWKもより広範なAI端末デバイスへ領域に展開すると期待している。



「李未可」公式バーチャルキャラクター

## 中国発のAI「DeepSeek」が話題

最近、中国で最もホットな話題の一つになっているのは、中国発のAI「DeepSeek(ディーブシーク)」です。

1月20日にリリースされた後に、モデル「R1」があっという間にAppleのApp Store(アップストア)無料アプリでダウンロード数トップになり、強い存在感を見せています。

R1モデルのパフォーマンスは OpenAI-o1 公式版に匹敵し、蒸留小型モデルは OpenAI o1-mini を上回っていると公式に声明しています。

※蒸留モデル:機械学習や深層学習の分野で開発されたモデルを、より軽量かつ効率的に動作するモデルへと変換する技術のことを指す。

世の中が生成AIの時代に突入していく過程で、米国のOpenAI社が開発したChatGPTが業界をけん引している中、これをけん制していた中国発のAI言語モデルの急成長は、テック業界だけでなく、株式市場にも影響を与えることになりました。

DeepSeekが業界の注目を集める理由は、高性能にもかかわらず、開発の低コスト化を実現していることにあります。開発会社が去年12月に発表したV3モデルの開発費用はわずか560万米ほどで、これまでの大規模AIモデル開発費用の数十億米ドルと比較すると驚異的な低コストになります。

同社のR1モデルはオープンソースとして公開されていて、誰でもカスタマイズができることも高い評価を受けているポイントになっています。

日本語も対応できているので、さっそくDeepSeekに日本語で強みと特徴を聞いてみたら、下記のような回答が出されました。

### 先進的なAI技術

DeepSeekは、機械学習や自然言語処理(NLP)などの最先端技術を駆使し、多様な業界向けにカスタマイズされたAIソリューションを提供しています。例えば、金融、医療、小売、製造業など、幅広い分野でAIを活用した効率化や意思決定支援を行っています。

唯来企業管理諮詢(深圳)有限公司  
副總經理

姜香花

日本・中国専門の進出・撤退案件のエキスパート。現在はクロスボーダーM&Aも手がけている。日本人、中国人の気持ちを理解したコンサルティングに定評。中国事業再編・M&Aサービス担当。



### ビッグデータの活用

中国の膨大なデータを基に、DeepSeekは独自の分析モデルを開発しています。これにより、市場トレンドの予測や顧客行動の分析など、ビジネスに直結するインサイトを提供します。

### グローバルな視点

DeepSeekは、中国市場に根ざしながらも、国際的な展開を積極的に進めています。日本を含むアジア市場や欧米市場でも、現地のニーズに合わせたソリューションを提供しています。

### 社会貢献への取り組み

DeepSeekは、テクノロジーを通じて社会課題の解決にも取り組んでいます。例えば、環境保護や教育分野でのAI活用、災害予測システムの開発など、持続可能な社会の実現を目指しています。

なお、推論問題の処理能力が高いとされているDeepSeekは、質問言語を日本語にしているところから、下記のように日本市場への期待も纏めてくれました。

DeepSeekは「日本市場に対して大きな可能性を感じています。日本は、高度な技術力と質の高いサービスが求められる市場であり、DeepSeekのAIソリューションが日本の企業や社会に貢献できると確信しています。DeepSeekは、日本企業との協力を通じて、相互に学び合い、成長することを目指しています。私たちは、テクノロジーの力で国境を越えた価値を創造し、日本と中国、そして世界の未来に貢献したいと考えています。」

文句を言えないほどの日本語表現力に感心しながら、AI革命時代になったと実感する瞬間でもありました。

時代の変化に乗り遅れないように、生成AIを業務に活用するのが生き残る道になるでしょう。



深圳未来创新服务中心  
MIRAI Innovation Center Shenzhen

深圳市南山区粤海街道海天二路 19号盈峰中心ビル 2301  
TEL:86-135-3089-3085  
<https://micsz.jp/>